

# 家畜市場 価格の推移 (9月)

## ▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	16	13	81.3%	266,760	18,360	99,495	58
	雄	159	156	98.1%	171,720	9,720	119,323	62
計	175	169	96.6%	266,760	9,720	117,510	62	
F1	雌	190	179	94.2%	303,480	97,200	244,785	65
	雄	202	198	98.0%	382,320	109,080	295,723	68
計	392	377	96.2%	382,320	97,200	271,034	66	
ホルス(5才) 雌	21	20	95.2%	413,640	90,720	245,828	743	

## ▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	11日	572	436	76.2%	1,331,640	403,920	892,892
釧路	12日	246	182	74.0%	1,203,120	626,400	921,056
根室	13日	430	377	87.7%	1,365,120	438,480	946,172
豊富	14日	298	189	63.4%	1,164,240	546,480	861,800
北見	26日	349	302	86.5%	1,396,440	552,960	934,214
十勝	27日	502	417	83.1%	1,420,200	302,640	927,109
合計		2,397	1,903	79.4%	1,420,200	302,640	913,873

## 業務報告 (9月分)

- 3日 水田再生協議会ワーキング会議
- // 中国三県購買担当者会議
- 4日 賀茂地域酪農団体連絡協議会役員会
- 5日 南部地域共進会巡回審査
- // 福山地方酪農協議会共進会
- // 検定ブロック会議(十六日迄)
- 6日 久井共進会巡回審査
- 7日 中国生乳販連会員実務責任者会議
- 12日 庄原市酪農連絡協議会役員会
- // 全酪連管外酪農事情視察研修(十四日迄)
- 13日 柿原牧場ガレッジセール
- // 酪農未来塾(十四日迄)
- 14日 J A 広島県大会議案検討委員会
- 19日 酪農ヘルパー調整会議
- 20日 広島県畜産関係団体連絡協議会
- 21日 牛乳ポスターコンクール審査会
- // 中国生乳販連理事会・生乳受託販売委員会
- // ひろらく女性グループ連絡協議会委員会
- // 西日本酪農青年女性会議三役・事務局会議
- // 備北・南部DMS入力会
- 22日 キッズエキスポ広島二〇一八
- 25日 収入保険普及推進会議
- // (二社) 中央畜産会・農林水産省訪問(二十六日迄)
- 26日 消費税研修会
- 27日 牛乳料理コンクール書類審査会
- // 乳代精算システムあり方検討会
- // 西部DMS入力会
- 28日 フードフェスティバル出展説明会
- // 東部DMS入力会
- 29日 上期棚卸監査
- // 山陽乳業(株)上期棚卸監査

## 編集後記



- ▼ 月日の経つのは早く、十月も後数日で終わろうとしています。後二ヶ月で年の瀬、新年を迎えますが一年はあった云う間に駆け足で過ぎ去って行きますね。
- ▼ 七月の西日本豪雨の影響で浸水被害に遭った山陽乳業(株)も十一月二日から二百㏓牛乳の製造ラインの稼働に目処がたって、学校給食用牛乳の約七・七万本の製造供給を行う予定にあります。
- ▼ これまで、同社の二百㏓牛乳の紙容器は「スリムタイプ」といって直方体の容器でしたが、製造再開後の紙容器は「ゲートルップ」になります。
- ▼ 「ゲートルップ」は、頂点が切妻屋根型に加工された箱型紙容器です。
- ▼ 先般、酪農家の複数人の方に、牛乳パックの「ゲートルップ」について訪ねてみましたが、正解者はありませんでした。
- ▼ 酪農理解醸成活動では、主に酪農家が飼育する牛の種類や、身体の高さ、与える食料など酪農家にとって身近な話題が中心ではありますが、学校給食牛乳の供給に触れて容器パックの種類を、次回からは加えてみられては如何でしょうか。
- ▼ 少々、話題は堅くなりますが本誌「酪農トレンドクス」のコーナーに掲載の九月の市町別の生乳生産量の順位の変化に気づかれた方はいらっしやいましたか？
- ▼ 実は、三次市の生産乳量が二位から脱落下三位となり、変わって世羅町が二位となりました。
- ▼ この変化の原因は、ただ単に三次市管内の生産者一戸が広酪への出荷を取りやめて、直接、スーパーを展開する企業への販売に切り替わったことにあります。
- ▼ なぜ、この様なことになったのでしょうか？
- ▼ 生乳生産量が減少する中で、自ら店舗販売する企業において、消費者に対してより安く良い商品を安定的に供給販売することにあるようです。
- ▼ つまり、店舗展開において牛乳等、チルドコーナーへの陳列商品の欠品から消費者が

## 市町別生乳受託量の進捗状況(9月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	30年度累計	前年比(累計)
庄原市	810.0	23.4%	95.6%	5,091.7	95.0%
世羅町	601.6	17.4%	99.3%	3,653.7	101.0%
三次市	489.2	14.1%	75.6%	3,688.1	90.4%
北広島町	438.9	12.7%	103.0%	2,843.2	100.9%
安芸高田市	313.1	9.1%	89.1%	1,959.6	84.9%
東広島市	308.2	8.9%	98.7%	1,968.1	102.0%
府中市	175.1	5.1%	87.3%	1,256.2	98.1%
福山市	111.8	3.2%	94.2%	730.1	92.3%
三原市	74.5	2.2%	94.5%	479.6	99.0%
広島市	67.5	2.0%	83.6%	465.2	95.4%
呉市	49.1	1.4%	101.7%	306.1	96.1%
神石高原町	19.1	0.6%	95.1%	128.8	84.7%
合計	3,458.0	100.0%	92.5%	22,570.4	95.5%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

## プール乳価(9月分)

プール乳価	111.7598円
前月分プール乳価	110.1864円
前月対比	101.42%

## 生乳生産量など前年同期比較(9月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	52戸	41.9%	184,069.1
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	72戸	58.1%	-248,714.6
合計	124戸	100.0%	-64,645.5

注)この比較は、平成30年9月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。(廃業組合員は含まない)

## 生乳受託実績(9月)

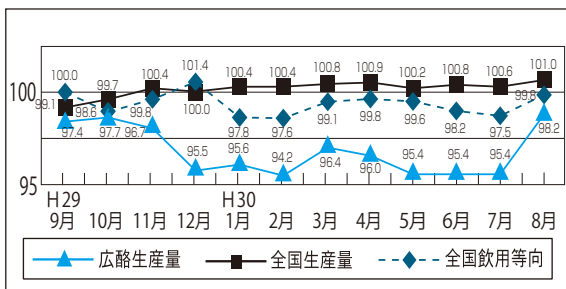
地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	38	11	38	37	124
生乳出荷量(トン)	1,133.7	357.2	819.4	1,147.6	3,458.0
前年同月対比(%)	84.5%	99.1%	95.5%	97.6%	92.5%
前月対比(%)	87.5%	97.1%	94.2%	94.0%	92.1%
生乳出荷累計(トン)	7,783.0	2,274.2	5,268.0	7,245.2	22,570.4
広酪構成比(%)	34.5%	10.1%	23.3%	32.1%	100.0%

※公共機関からの生乳受託数量は除く。

## 市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(8月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	46,167	838	30.7%	55.09円
2	三次市	35,680	625	23.7%	57.09円
3	安芸高田市	17,622	326	11.7%	54.06円
4	府中市	14,491	215	9.6%	67.40円
5	北広島町	11,561	470	7.7%	24.60円
6	福山市	7,023	117	4.7%	60.03円
7	世羅町	6,392	619	4.2%	10.33円
8	東広島市	5,043	316	3.4%	15.96円
9	三原市	4,486	82	3.0%	54.71円
10	神石高原町	1,186	20	0.8%	59.30円
11	広島市	540	74	0.4%	7.30円
12	呉市	343	52	0.2%	6.60円
	合計	150,534	3,754	100.0%	40.10円

## 生乳需給の前年比推移(8月) (単位:%)



購入出来ないような事態を回避する狙いともされます。

▼今や、全国的な生乳生産量の減少とともに、自然災害の影響から、物流が混乱しお金を出せば当たり前にある牛乳が店頭から消える場面もありました。

▼広酪にも、山陽乳業(株)の牛乳を愛飲するところの消費者から、生産量が落ち込んでくるのか、何時になったら製造が再開されるのかと、心配の声も届きました。

▼今や、平成十七年から十九年に亘る厳しい減産型生乳計画生産の時の嘘の様に、生乳生産基盤は脆弱が続いています。

▼全国各地では、数百頭又は数千頭の乳用牛を飼養するメガ、ギガ牧場の誕生からその生乳生産量は増加傾向にあり、中でも中国生乳販連管内は、この典型で生産量は前年対比で百%を超える状況にあります。この現象は限定的で将来ともに伸長するとは見込めないものと考えます。

▼同連は、平成三十一年度の乳価交渉で七・五円/kg以上の引き上げを要求し、乳業者との交渉に入りました。

▼「生乳生産基盤の維持・復元は家族経営層の増産意欲の復活が基本」とする姿勢をもって・・・。

▼また、日本酪農政治連盟は、家族型酪農経営の廃業経過に大きな危機感を抱き、これら経営が後継者に引き継がれるにあたって安定した乳価の確保や国による政策を求めて十一月十四日には全国酪農民総決起大会を開催するとしています。

▼一方、ここに来て、ガソリン価格は百六十一円/ℓとなり、もちろん軽油価格も百五十円/ℓに迫っています。

▼酪農経営のみならず集送乳、飼料運搬を支える運送業者からの悲鳴の声も聞こえています。

▼乳価引き上げも、シタチこっこんを何時までも繰り返すことが無いよう、生産コスト抑制などの努力も忘れてはいけないものと考えますが如何でしょうか？

(A・N)